

1

(記述題)

2  
工

3  
工

4  
優しく

C	A
被害	人手
D	B
修復	台風直撃や豪雨

6  
山の木々を  
7  
現在は、二

8  
ウ  
9  
X  
い  
Y  
ち  
Z  
か

10  
a  
標高  
b  
由来  
c  
公式

2

1  
a  
公園  
b  
感心  
c  
仕立て

2  
X  
手  
Y  
金  
Z  
な  
3  
A  
ア  
B  
カ  
C  
ウ

4  
思いました  
O  
5  
イ  
6  
(記述題)

7  
ア  
8  
エ  
9  
イ  
10  
私の夫

11  
胸のポケット

1

1  
人口を支えるだけの食  
べものがあつただけの食

2

6  
飯田さんに近づくと小  
鳥がおこなう仕事か  
やりにくから仕

(同意可)

(同意可)

配点	
1 5・9・10 2 1・2	各2点×16=32点
1 1 2 6	各6点×2=12点
その他	各4点×14=56点
100点	

1 空らん直前の「それだけの」が何をさしているか考えて、一文の意味をはっきりさせる。〃人の数は、その当時、その人の数だけのう(こと)から、その当時、その人の数だけの〃、ということをお教(しや)えてくれます。〃とい(い)かえられるだろう。さらに言(い)かえると、〃人の数(が何人いたかという)〃が問題(もんだい)とな(な)っていることがわ(わ)かり、見島(みじま)にはその食料(じきりょう)が豊富(とよみ)だったと書(か)かれている。

2 Aに「でも」、Bに「しかも」、Cに「つまり」が入る。確認(たしかめ)しておこう。

3 問(と)いは「たくさんの米(こめ)をつくるための…工夫(くわふ)」をきいている。エは、飲(の)み水を確保(たも)つための工夫(くわふ)である。

4 「だんかざり」という呼(よ)び方の話(はなし)は次の段落(段落)まで続(つ)いている。確(た)実にたどろう。

5 問(と)いは「そのような(小さな)ため池(ためいけ)をつくった理由(りゆう)」を二(に)つに分(わ)けて答(こた)えることを求(もと)めている。〃小さなため池(ためいけ)をつくった理由(りゆう)〃は〃大きなため池(ためいけ)をつくらなかつた理由(りゆう)〃でもある。――線(せん)④(よ)から少(すく)しさかのぼ(た)ったところに、「それ以上(じやう)に」という言(い)葉(は)をはさんでその説(せ)明(めい)が二(に)つ述(の)べられてい(い)る。「人(ひと)手(て)もお金(かね)も、また道(みち)具(ぐ)も」のうち、「お金(かね)」「道(みち)具(ぐ)」が、問(と)いでは「豊(とよ)か」とま(ま)とめられてい(い)ることに注(ち)意(い)したい。

6 「山の木(き)」の話(はなし)は二(に)つ前(まへ)の段落(段落)にある。そこで「山の木(き)」と「地下水(くわんすい)」の関(かん)係(けい)が述(の)べられてい(い)る。

7 飲(の)み水(みづ)の話(はなし)は、見島(みじま)ダムについ(つ)て書(か)かれてい(い)る段落(段落)にある。

8 ア：「共同(きゆうどう)で使(つか)うのは大(お)きなため池(ためいけ)である。小(こ)きなため池(ためいけ)は「個人(こじん)のため池(ためいけ)」と書(か)かれてい(い)た。イ：萩藩(はぎはん)がす(す)め(め)たのは風(かぜ)よけのため(ため)のオニガヤ(おにがや)である。エ：見島(みじま)ダムがで(で)きるま(ま)では島(しま)にダム(ダム)はな(な)かつた。

9 Xの「いわば」は〃言(い)つてみれば〃、たと(たと)えて言(い)え(え)ば〃とい(い)った意(い)味(み)。Yの「ちなみに」は〃ついでに〃。Zの「かつて」は〃昔(むかし)〃以前(いぜん)〃。

10 a「標高(ひょうこう)」は平(へい)均(くわん)海面(かいめん)から測(はか)った高(たか)さのこ(こ)とで、〃海抜(かいぼつ)〃ともい(い)う。b「由来(ゆらい)」は〃こ(こ)の起(お)こり〃。こ(こ)こ(こ)では、「だんかざり」とい(い)う名(な)前(まへ)がど(ど)のよう(よう)に生(な)ま(ま)り(り)誕(た)ん生(せい)し(し)広(ひろ)ま(ま)ったか(か)とい(い)うこ(こ)と。c「公式(こうし)」は〃お(お)お(お)や(や)けに(に)さ(さ)だ(だ)め(め)た(た)や(や)り(り)方(かた)〃。こ(こ)こ(こ)では、「農(のう)林(りん)水(すい)産(さん)省(しやう)」の発(はつ)表(ひょう)が「公式(こうし)」の発(はつ)表(ひょう)とい(い)うこ(こ)とに(に)なる(なる)。

1 a「公園(こうえん)」は「園(えん)」の字(じ)形(かたち)に気(き)をつ(つ)ける。また、同音異義語(どうおんいぎご)もある(ある)ので注(ち)意(い)する。b「感(かん)心(しん)」は同音異義語(どうおんいぎご)との使(つか)い分(わ)けに注(ち)意(い)する。c「仕立(しだて)」は服(ふく)を作(つく)るなど、裁縫(さいほう)をす(す)ること。

2 X「身振(みぶり)手振(てぶり)り」は体(てい)を動(うご)かして感(かん)情(じやう)や意(い)思(し)を表(あらわ)現(げん)するこ(こ)と。Y「金切(かねぎり)り声(こゑ)」は鋭(すまじ)くかん高(たか)い声(こゑ)。Z「なけなし」はあ(あ)るか(か)ないか(か)わ(わ)か(か)ら(ら)ない(ない)ぐ(ぐ)ら(ら)い(い)で(で)あ(あ)る(る)こ(こ)と。ほ(ほ)と(と)ん(ん)ど(ど)な(な)い(い)こ(こ)と(と)。

3 Aは、店(みせ)に入(い)っ(っ)てく(く)る(る)よう(よう)す(す)だ(だ)が、人(ひと)に知(し)ら(ら)れ(れ)て困(こ)る(る)こ(こ)と(と)では(では)な(な)い(い)ので、「こ(こ)そ(そ)こ(こ)そ(そ)と」はあ(あ)か(か)しい。また、ラ(ラ)ス(ス)ト(ト)近(ちか)くの「あ(あ)な(な)た(た)が(が)ショ(ショ)ー(ー)ウ(ウ)イ(イ)ン(ン)ド(ド)ウ(ウ)に(に)…」以下(いげ)の小(こ)鳥(とり)の言(い)葉(は)から、飯田(いひだ)さん(さん)が「私(わたし)」に好(こう)意(い)を持(も)つ(つ)てい(い)る(る)こ(こ)と(と)が(が)わ(わ)か(か)る(る)。Bは見(み)る(る)よう(よう)す(す)だ(だ)が、続(つ)き(き)を(を)た(た)ど(ど)つ(つ)てい(い)くと、「今(いま)度(ど)は飯田(いひだ)さん(さん)が(が)ま(ま)じ(じ)と見(み)る(る)番(ばん)」とあ(あ)る(る)こ(こ)と(と)から決(き)ま(ま)る(る)。Cは寝息(ねいき)を(を)表(あらわ)して(して)い(い)る(る)が、小(こ)鳥(とり)の寝息(ねいき)な(な)のであ(あ)まり(り)大(お)きな音(ね)は(は)し(し)ない(い)だ(だ)ら(ら)う(う)。

4 この「春(はる)の夜(よ)」の話(はなし)が(が)ど(ど)こ(こ)ま(ま)で(で)続(つ)いて(いて)い(い)るか(か)とい(い)う(う)こ(こ)と(と)で(で)あ(あ)る(る)。初(はじ)めに通(と)読(よ)した(した)際(さい)に、時(とき)間(かん)の移(うつ)り(り)変(へ)わ(わ)り(り)に(に)は注(ち)意(い)を(を)払(はら)つ(つ)てお(お)き(き)たい(たい)。――線(せん)①(よ)の「あ(あ)れ(れ)は…で(で)した(した)」を(を)受(う)け(け)た(た)表(あらわ)現(げん)が、「そ(そ)れ(れ)か(か)ら(ら)一(いっ)週(しゅう)間(かん)が(が)経(た)つ(つ)た(た)…」で(で)あ(あ)る(る)。

5 「もう何(なん)回(かい)目(め)か(か)わ(わ)か(か)ら(ら)ない(い)」とい(い)う(う)こ(こ)と(と)は、何(なん)回(かい)も(も)し(し)た(た)とい(い)う(う)こ(こ)と(と)で(で)あ(あ)る(る)。少(すく)し(し)さ(さ)か(か)の(の)ぼ(た)つ(つ)た(た)と(と)ころ(ころ)に(に)も「ま(ま)た(た)も(も)小(こ)鳥(とり)が(が)飛(と)び(び)上(あ)が(あ)り(り)ま(ま)した(した)」と書(か)か(か)れて(て)い(い)た(た)。す(す)な(な)わ(わ)ち(ち)、何(なん)回(かい)も(も)説(せ)明(めい)を(を)し(し)た(た)の(の)は、小(こ)鳥(とり)が(が)何(なん)回(かい)も(も)腹(はら)を(を)立(た)て(て)た(た)か(か)ら(ら)で(で)あ(あ)り(り)、小(こ)鳥(とり)が(が)腹(はら)を(を)立(た)て(て)た(た)の(の)は、「私(わたし)」が(が)飯田(いひだ)さん(さん)に(に)近(ちか)づ(づ)いた(た)か(か)ら(ら)で(で)あ(あ)る(る)。「私(わたし)」が(が)飯田(いひだ)さん(さん)に(に)近(ちか)づ(づ)くと(と)腹(はら)を(を)立(た)て(て)る(る)の(の)は、小(こ)鳥(とり)が(が)飯田(いひだ)さん(さん)の(の)こ(こ)と(と)を(を)好(こう)き(き)で(で)や(や)き(き)も(も)ち(ち)を(を)や(や)い(い)て(て)い(い)る(る)か(か)ら(ら)で(で)あ(あ)る(る)。

6 問(と)い(い)は(は)説(せ)明(めい)でも(も)確(た)認(にん)した(した)よう(よう)に、サ(サ)イ(イ)ズ(ズ)を(を)測(はか)ろう(う)と(と)し(し)て(て)近(ちか)づ(づ)く(く)た(た)び(び)に(に)小(こ)鳥(とり)に(に)文(ぶん)句(く)を(を)言(い)わ(わ)れ(れ)、その(その)度(たび)に説(せ)明(めい)を(を)し(し)な(な)け(け)れ(れ)ば(ば)な(な)ら(ら)ない(い)とい(い)う(う)状(じやう)況(きやう)に(に)な(な)つ(つ)て(て)い(い)る(る)ので(ので)あ(あ)る(る)。

7 問(と)い(い)は(は)説(せ)明(めい)でも(も)ふ(ふ)れ(れ)た(た)よう(よう)に、飯田(いひだ)さん(さん)が(が)「私(わたし)」に好(こう)意(い)を持(も)つ(つ)て(て)い(い)る(る)こ(こ)と(と)を(を)知(し)つ(つ)た(た)小(こ)鳥(とり)が、「シ(シ)ャ(ャ)ツ(ツ)を(を)作(つく)れ(れ)ば(ば)い(い)」と(と)す(す)め(め)た(た)ので(ので)あ(あ)る(る)。も(も)ち(ち)ろ(ろ)ん(ん)、飯田(いひだ)さん(さん)と(と)「私(わたし)」が(が)近(ちか)づ(づ)く(く)き(き)つ(つ)か(か)け(け)を(を)作(つく)る(る)た(た)め(め)で(で)あ(あ)る(る)。

8 線(せん)⑤(よ)か(か)ら(ら)さ(さ)か(か)の(の)ぼ(た)つ(つ)て(て)初(はじ)め(め)に出(い)で(で)く(く)る(る)「三(さん)か(か)月(げつ)ぐ(ぐ)ら(ら)い(い)前(まへ)」や(や)さ(さ)ら(ら)に(に)さ(さ)か(か)の(の)ぼ(た)つ(つ)と(と)出(い)で(で)く(く)る(る)「五(ご)年(ねん)前(まへ)」な(な)ど(ど)に(に)ま(ま)ど(ど)わ(わ)さ(さ)れ(れ)ない(い)よう(よう)に(に)し(し)たい(たい)。場(ば)面(めん)の(の)時(とき)間(かん)関(かん)係(けい)を(を)理(り)解(かい)す(す)る(る)こ(こ)と(と)は、物(ぶつ)語(ご)を(を)読(よ)む(む)際(さい)に(に)最(さい)も(も)気(き)を(を)つ(つ)け(け)たい(たい)こ(こ)の(の)一(いっ)つ(つ)で(で)あ(あ)る(る)。

9 「これは置(お)き土産(とさん)な(な)の(の)」「これ(これ)」はシ(シ)ャ(ャ)ツ(ツ)の(の)こ(こ)と(と)を(を)さ(さ)して(して)い(い)る(る)だ(だ)が、小(こ)鳥(とり)が(が)ど(ど)う(う)い(い)う(う)意(い)図(ず)で(で)その(その)シ(シ)ャ(ャ)ツ(ツ)を(を)残(のこ)して(して)い(い)く(く)のか(か)とい(い)う(う)こ(こ)と(と)ま(ま)で(で)ふ(ふ)ま(ま)え(え)ない(い)と「置(お)き土産(とさん)」の(の)説(せ)明(めい)に(に)は(は)な(な)ら(ら)ない(い)。シ(シ)ャ(ャ)ツ(ツ)を(を)通(と)して(して)実(じつ)現(げん)し(し)たい(たい)何(なん)か(か)が、「置(お)き土産(とさん)」な(な)ので(ので)あ(あ)る(る)。

10 「一(いっ)緒(じょ)に(に)生(な)き(き)て(て)い(い)ける(ける)誰(たれ)か(か)を(を)見(み)つ(つ)て(て)あ(あ)げ(げ)たい(たい)」とい(い)う(う)気(き)持(もち)ち(ち)か(か)ら(ら)飯田(いひだ)さん(さん)と(と)一(いっ)緒(じょ)に(に)外(あ)出(し)し(し)、そ(そ)して(して)見(み)つ(つ)け(け)た(た)の(の)が「私(わたし)」な(な)ので(ので)あ(あ)る(る)。飯田(いひだ)さん(さん)と(と)「私(わたし)」が(が)一(いっ)緒(じょ)に(に)生(な)き(き)て(て)い(い)く(く)こ(こ)と(と)に(に)な(な)つ(つ)た(た)こ(こ)と(と)が(が)わ(わ)か(か)る(る)こ(こ)ろ(ろ)を(を)さ(さ)が(が)す(す)。

11 飯田(いひだ)さん(さん)が「ド(ド)キ(キ)ド(ド)キ(キ)し(し)て(て)る(る)」こ(こ)と(と)に(に)気(き)づ(づ)いた(た)理(り)由(ゆ)を(を)表(あらわ)した(した)部(ぶ)分(ぶん)で(で)あ(あ)る(る)。ド(ド)キ(キ)ド(ド)キ(キ)し(し)て(て)い(い)る(る)の(の)は(は)胸(むね)で(で)あ(あ)ら(ら)う(う)。